

一年でもっとも太陽の勢いが弱くなる冬の12月。

むかしの人たちはこの時期、

富や幸を願って自然の力が「殖ゆ」することを祈り、祝うおまつりをしていたといいます。

「これからの日本にほんとうに必要なものだけを集めた学校」として、  
7月からスタートしたくくのち学舎もそれにならって、  
くくのちに参加してくださった方や仲間たちと一緒に、  
ふゆ(冬、殖ゆ)のおまつりを開くことにしました。

ふゆまつりのテーマは「贈与と交歓」。

山や森や畑の幸を味わい、お酒や温かい飲みものを飲みながら、  
集った人と話しをしたり、芸能を堪能したり。

また、まつりと一緒に行われていたという「市場＝市庭」を、  
物々交歓や首の交易のスタイルで再現して、

「これからの日本にほんとうに必要な」コミュニケーションについて、  
みんなで考えながら楽しみましょう。

くくのち

ふゆまつり



12.23 祝 10:30-19:00 四谷ひろば講堂

